



vol.5

## 将棋会から

## 来たれ、初級者！

将棋会 軽部 龍太郎 (57期)

## 1 前回の反響

前々号の「同好会通信」に後藤会員の記事が掲載されて間もなく、幾人かの会員の方から将棋会に参加したいとの連絡をいただき、早速FAX送信名簿とメールリストへ登録致しました。ここ数年は、東弁新入会員歓迎会への参加、「知っておきたい東弁情報」へのチラシ掲載、昨年度の「東京弁護士会 囲碁・将棋祭り」開催といった機会を通じて、効果的な広報が可能になっています。また、有難いことに、初級者の方から「参加したい！」と言っていただくことも増えました。そこで今回は、近年入会した会員のうち、もともと初級者のレベルにあった方々が、どのように将棋会の活動を楽しみ、また上達していったかを、私の視点からお伝え致します。

## 2 S会員の場合

S会員は50期代の女性弁護士で、2012年7月に初めて来会されました。入会当初は、駒の動かし方を確認しながら慎重に進め、指導棋士の誘導で「詰み」の形に持ち込んだ後も、念入りに「詰み」であることを確認されていました。その後、北尾まどか女流二段の指導を受けて棋力が向上。現在では女性チーム限定の団体戦のほか、「社会人団体リーグ戦」にも参加されています。S会員の隠れた特技は四コマ漫画を描くことで、かつては司法試験受験情報誌に連載を持っていました。現在は将棋ファン向けフリーペーパーでその腕前を披露しています。

## 3 M会員の場合

M会員は60期代の男性弁護士で、2013年1月に初めて来会されました。M会員の得意戦法は「四間飛車<sup>しけんびしや</sup>」。特に藤井猛九段の「四間飛車を指しこなす本」を繰り返し読み、型を身につけることで棋力を向上させました。現在は優に有段者の域に達し、「職団戦」の弁護士チームでも活躍しています。基本書を繰り返しマスターするあたりが法曹らしいアプローチですね。

## 4 N会員の場合

N会員は60期代の男性弁護士で、2015年10月に初めて来会されました。風貌がプロ将棋界きっての実力者である渡辺明竜王に似ているということで、東弁将棋会では「竜王」あるいは「竜王の弟」が愛称となっています。得意戦法はやはり「四間飛車」。M会員らの「四間飛車党」と対局の検討をしている姿をよく見かけます。

## 5 東弁将棋会への参加方法

下記にご連絡下さい。幹事にて名簿に登録し、次回交流会のご案内をお送りします。

【連絡先】 省略